

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	収益的経費			
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市水道事業特別会計予算	
事業の目的	水道法の規定に基づき、水道事業を実施。給水人口16,038人(平成24年11月)の加入者に安心・安全・安定した飲料水の供給を目指して、水道施設の管理・運営を行っている。				区分 No.	区分名
					款	
					項	
					目	
細目						
根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条					
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備					
H25年度事業の概要	(1) 営業費用 ①原水及び浄水費 235,560千円 ②配水及び給水費 26,100千円 ③受託工事費 10千円 ④総係費 86,200千円 ⑤減価償却費 122,000千円 ⑥資産減耗費 3,100千円 ⑦その他営業費用 2,000千円 (2) 営業外費用 ①支払利息 25,000千円 ②消費税 8,630千円 ③雑支出 5,600千円 (3) 特別損失 1,800千円 (4) 予備費 1,000千円				財源の内訳 (単位:千円)	
	経費の縮減を図りながら、水道水の安定供給に努めている。				分担金	
事業の成果					使用料	
					国費	
					県費	
					市債	
					その他	
					一般財源	517,000
					H25予算額	A 517,000
H24当初予算額	B 528,000					
H24現計予算額	528,000					
増減額	A- ▲ 11,000					
事業のコスト	平成23年度(実績)	平成24年度(見込)	特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)	491,910	528,000				
従事職員数【人工】						
人件費(人工×8,000千円)						
総事業費:人件費含む(千円)	491,910	528,000				
活動指標名	年間総配水量					
活動指標の算式	-					
活動指標の実績	1,788.2	単位 千m ³	1,794.0	単位 千m ³		
単位当たりコスト(円)	275,087		294,314			
事業の目標	今後も、水道水の安定供給のため経費の経営健全化を図りながら、運営を行っていく。				備考	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	玉立・赤瀬地区上水道事業【再掲】				
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市水道事業特別会計予算		
事業の目的	宇陀市上水道事業第3次拡張計画のうち、東榛原地区(玉立・赤瀬・額井・山辺三)の一部高所地区への水道の供給を行う。				区分 No.	区分名	
					款		
					項		
					目		
					細目		
根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条						
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備						
H25年度事業の概要	赤瀬高区配水池造成工事 A= 500㎡ 送水管 φ 75 L=1,000m 配水管 φ 150 L=1,000m 舗装復旧工事 A=3,500㎡				財源の内訳 (単位:千円)		
	この給水区域は、平成24年度から平成29年度までの計画として、この事業が完了しますと旧榛原町が掲げてきた榛原全戸給水となり、上水道の水道未普及地解消事業が完了する。				分担金		
使用料							
国費					28,000		
県費							
市債					42,000		
その他					8,600		
一般財源							
事業の成果					H25予算額 A	78,600	
					H24当初予算額 B	19,800	
					H24現計予算額		
					増減額 A-B	58,800	
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況		
決算額又は決算見込額(千円)			37,632		水道未普及地域解消事業補助金 28,000千円		
従事職員数【人工】			0.20		企業債 21,000千円		
人件費(人工×8,000千円)			1,600		出資債 21,000千円		
総事業費:人件費含む(千円)			39,232		内部留保金 8,600千円		
活動指標名		進捗率					
活動指標の算式		実施済事業費/総事業費					
活動指標の実績			単位	9.0	単位	%	
単位当たりコスト (円)				4,359,111			
事業の目標	当地区は、長年にわたり井戸及び取水を生活用水として使用してきたが、水量、水質について日々不安定な状況で苦慮していた。本事業により上水を送ることで、安定した水量、安全な水質を確保でき生活基盤の改善が図られる。				備考	<予算案のポイント> 【重点事業】 5.市民安心安全プロジェクト 【生活基盤の整備】 (2)水道給水区域の拡大	

平成 25 年度当初予算(案) 事業別シート

宇陀市 水道事業特別会計

事業区分	継続	事業名	その他資本的経費					
所管課	501	水道部総務課	(水道局)		宇陀市水道事業特別会計予算			
事業の目的	水道法の規定に基づき、水道事業を実施。安心・安全・安定して水道水を供給できるよう整備工事を実施。				区分	No.	区分名	
					款			
					項			
					目			
細目								
根拠条例等	憲法25条及び水道法第15条							
総合計画	基本計画 第3章 第4節 上下水道の整備							
H25年度事業の概要	(1) 営業設備費 ① 量水器購入費 2,000千円 ② 車両購入費 1,300千円 (2) 水道建設委事業費 ① 料金システム更新委託 9,300千円 ② 工事請負費(その他工事) 4,820千円 ③ 人件費 20,998千円 ④ 事務費 282千円 ⑤ 企業債償還金 62,700千円				財源の内訳 (単位:千円)			
	整備事業の推進によって、水道水の安定供給と未普及地の解消に努めている。				分担金			
使用料								
国費								
県費								
市債								
その他								
一般財源					101,400			
H25予算額	A 101,400							
H24当初予算額	B 244,000							
H24現計予算額	244,000							
増減額	A-							
事業のコスト		平成23年度(実績)	平成24年度(見込)		特定財源の状況			
決算額又は決算見込額(千円)		228,406	219,968					
従事職員数【人工】		/						
人件費(人工×8,000千円)								
総事業費:人件費含む(千円)		228,406	219,968					
活動指標名		整備済区域世帯						
活動指標の算式		-						
活動指標の実績		6,571	単位	戸		6,572	単位	戸
単位当たりコスト(円)		34,760		33,470				
事業の目標	今後とも、未普及地の解消を図るとともに、老朽施設の更新・耐震化等を計画的に実施することにより、安定供給に努める。					備考		